



100年後に残る絵画を目指して。

美しい岩絵の具、本質をとらえた表現…この国に伝わる日本画と呼ばれる独自の絵画表現は時代とともに幅を広げつつ進化を遂げてきました。しかしこの表現方法の習得には古来より様々な「画派」の存在が示すように、やる気や根気とともに段階を踏まえた教育が必要でした。本学の日本画では緻密に計算されたカリキュラムで日本画技術の基礎から伝統的表現を経て未来に羽ばたく日本画表現を目指す人材をアシストします。

1年次

日本画で使う岩絵の具や膠など独特な画材は扱いに高度な技術を必要とします。1年次は基礎描写や鳥獣戯画の模写を通して日本画のものの捉え方や見方を学び、日本画の伝統的な画材を体得していきます。

基礎描写 古典絵画模写
精密描写 その他実習



1年次 講評会風景



基礎描写 スルメとネギ



鯉基礎描写の風景



基礎描写 鯉

2年次

2年次は写生、下図、大下図、本紙制作という日本画の基本的な制作プロセスを学んでいきます。その過程で和紙の裏打ちや水張りなどの基本的な技術を修得します。また、伴大納言絵巻の模写を通して、古典のものの見方から日本画独特の造形や色彩を学びます。

基礎表現技術 課題制作
古典基礎技術 その他実習
伝統的基礎技術



写生指導風景



2年次 課題講評会風景



絹本課題 花卉



着彩模写 伴大納言絵巻

少人数制による細かな指導

1学年15人に対して5人の専任教員が1年次から指導を行います。3年次からは10名以上の非常勤講師も加わり、学生それぞれの独自の表現を追求していきます。また、毎年5月には全学年で信州に郊外写生研修に行きます。講評会では先輩方の写生を見ながら表現について深く学び、学年を超えて交流していきます。



郊外写生研修 写生の様子



講評会の様子

3年次・4年次

3年次からは150号という大きな作品に取り組みます。自分の身体より大きな作品制作に懸命に取り組むことで、より深く表現と向き合っていきます。3年後期～4年前期は自身の制作を独自に研究する期間とし、伝統に基づいたもののみならず、現代に生きる等身大の感覚によって対象を捉えていきます。4年後期には卒業制作に取り組み、学生ごとのものの見方と技術が身につく、各々の日本画が生み出されます。

自由課題制作 学内展示発表
その他実習 卒業制作



和紙を染めるガイダンスの様子



3年次 150号制作の様子



学内展示風景



3年次 講評会風景



4年次 巡回指導の様子



4年次 卒業制作プレゼンの様子



卒業制作制作風景



4年次 卒業制作最終講評会風景

卒業後の進路・活躍

【就職】日本画家(日展・院展・創画会等各公募系列他)／大学教員(京都市立芸術大学、佐賀大学、名古屋芸術大学、東北芸術工科大学、京都精華大学、宝塚大学、大阪成蹊大学、崇城大学、秋田大学、金沢学院大学、金城大学短期大学部他)／全国小中高教員／学芸員(石川県立美術館、福井県立美術館、名古屋市美術館、MOA美術館、石川県立歴史博物館)／文化財保護修復関係機関各種／公立工芸研究機関(九谷焼技術、輪島漆芸他)／造形作家／工芸作家(陶芸、染色、漆芸)／漫画家／イラストレーター／各種デザイナー／映像関係／繊維関係／印刷関係／報道関係／会社経営／流通、販売系

【受賞・発表】日展(大臣賞、会員賞、特選)／日春展(外務大臣賞、山口蓬春記念賞、日春賞他)／全関西美術展(全関西賞他)／臥龍桜日本画大賞展(大賞他)／青垣日本画大賞展(大賞他)／現代美術展(美術文化大賞他)／文化庁在外派遣研修員／新風舎えほんコンテスト(優秀賞)／Seed 山種美術館日本画アワード特別賞／院展(奨励賞)／春の院展(奨励賞)／東山魁夷記念日経日本画大賞展(大賞他)／上野の森美術館大賞展(特別優秀賞)／三溪展(優秀賞)／京展(京都市長賞他)／菅桶彦大賞展(大賞、準大賞)／郷さくら大賞展(大賞、準大賞)



高橋紀子 「いつか閉じた家」
土佐麻紙、墨、胡粉、水干絵具、岩絵具、工業顔料 H 130.3×W 194×D 3 cm



俣田千尋 「賑々しい木陰」
土佐麻紙、盛上げ、方解末、盛胡粉、雲母、水干絵具、岩絵具 H 130.3×W 194×D 3 cm



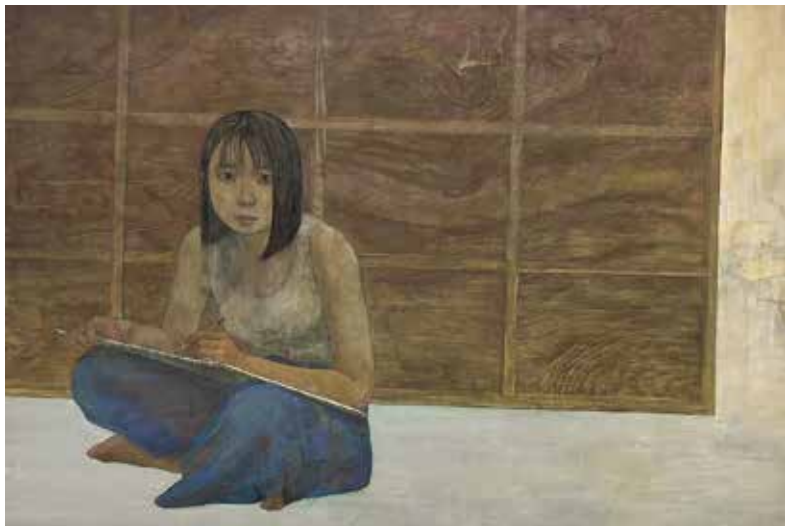
坂井亜也子 「余香」
雲肌麻紙、染料、顔料、墨、天然岩絵具、金属泥、金箔 H 190×W 180 cm



川崎千尋 「露ながら折りてかざさむ菊の花」
白麻紙、岩絵具、銀箔、アルミ箔、墨、水干絵具 H 281.8×W 227.3cm



佐伯龍進 「光に包まれて」
高知麻紙、水干絵具、岩絵具、墨、胡粉、盛上胡粉、銀箔 H 130.3×W 194×D 3 cm



田原有可里 「みつめる」
土佐麻紙、水干絵具、岩絵具、土絵具 H130.3×W194cm



矢野宏実 「心地よいせせらぎ」
麻布、銀箔、銅箔、水干絵具、岩絵具、雲母 H 162×W 227.3 cm